

ブーケ Bouquet



No. 77
2015.10

特集1 パパの子育て

座談会 子育てを楽しんでいます

インタビュー 日本橋パパの会 代表 かのこぎみちのり 鹿子木亨紀さん

地域にパパ友を持つ

特集2 第14回ブーケ祭りを開催しました!

- ◆ 講座・イベントの報告・募集・お知らせ
- ◆ 講演と映画のつどいの報告

パパの子育て

座談会 子育てを楽しんでいます

中央区では30代、40代を中心とした子育て世帯の転入が増え、子どもの数も増えています。男性が子育てや家事、介護に携わることは、男性自身が仕事と生活の調和のとれた人生を送る上でも女性の活躍推進を図る上でも極めて重要です。特集では、区内在住のパパさんに集まっていたいただき、日ごろの子育てについてお話をいただきました。



日ごろの子育て

日ごろ、お子さんごとのように過ごしていますか？

天野…子どもは1歳3カ月の娘が一人です。週2日泊まり勤務があつてその日は家に帰れないのですが、翌日はなるべく娘と一緒にいます。子育ては思っていた以上に大変で自分もやれることはやらないという感じです。おむつ替えも抵抗ないですし、家にいるときはお風呂も必ず入れています。休日は児童館や夏はじゃぶじゃぶ池に連れて行ったりします。

芦沢…子どもは一人で1歳2カ月の男の子です。僕はいま育児休暇をとりながら大学院に通っています。離乳食やお風呂に入れたり日々妻と一緒にやっています。僕の方が潔癖症なくらいでおむつ替えはいつもやっています。苦手なことは寝かしつけですね。

篠田…子どもはもうすぐ5歳になる息子と1歳4カ月になる娘がいます。平日は帰りが遅いので、朝出勤前に1時間ぐらい遊んだり、上の子を幼稚園に送って行ったりします。下の子は土日は見るよう

にしていますが、基本上的子を担当しています。最初は風呂に入れるのも怖かったですけど、今は僕もある程度のことではあります。

宮川…子どもは9カ月の娘が一人です。平日はほとんど深夜帰宅なので、朝、子どもといる時間を作るようにしています。休日は子どもがまだ小さいので男一人では何かあると心配で妻と一緒に行動しています。子育ては二通りできます。料理が趣味なので離乳食の下ごしらえまでを僕がします。最近、寝かしつけのこつを覚えてきました。

楽しいと思う瞬間、感動することは何ですか？

芦沢…子どもが何か一つできるよ



天野雄一さん

(日本橋地域在住)

お子さんは1歳3カ月の女の子



芦沢國正さん

(京橋地域在住)
お子さんは1歳2カ月の男の子



うになったときや笑ってくれたりするときですね。パパって言われた瞬間を覚えていません。はいはいをしたとか、歩き始めたとか、そういうタイミングは妻と記録しています。嬉しいですし、感動します。天野・僕も子どもが手をたいたりとか新しいことをやったりするときに喜びを感じます。こちらがしたことについて笑ってくれたり、家に帰ってにこっとしてくれるのがすごく嬉しい。やっとな父親だとわかってくれたのかなという感覚があります。

たという達成感があります。とことん遊ぶことも父親の役割の一つなのかなと思います。宮川・子どもに喜びの表現というのがあって、それを見ると嬉しいし子育てで楽しいなと思います。買い物に行ったときに子どもがいると知らない人とも話ができてというのも楽しいと思いますね。

子育てで大変だと思つてとは何ですか？

天野・寝かしつけですね。抱っこしているときに寝ていても、おろすとぎゃあと起きてまた振り出しに戻る。最近は何とかができるようになりましたが、技術的にはまだまだです。宮川・先日、3時間くらい娘と二人だけになりましたが、一緒にいるだけで辛くなります。泣くわけではないのですが、すべてが初めてのことでどういう変化をするかかわからず一挙手一投足に不安になることがあります。

芦沢・大変さが徐々に変わっていつて、最初のころはコミュニケーションがとれなくて僕も3時間一緒にいただけで大変でした。歩き始めるようになってからは動き回るの

で、追いかけるのが大変です。眠い時はママ、ママと言って、二人で留守番しているときも泣きまくると大変です。

篠田・上の子で大変なのは、叱ったりすることですね。突然気が変わったたりするのを怒っても仕方ないし、ほめて伸ばすか叱るか、手を替え品を替えというところが大変だと思っています。

父親になって変わったことはありますか？ どんな時に父親を実感しますか？

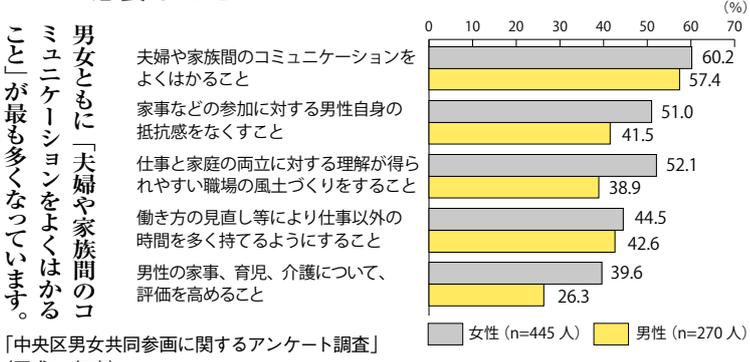
芦沢・職場の同僚や大学の友人に会うと、「父親っぽくなったね」とは言われます。子どもの話をするからかもしれません。生活スタイルも変わりますけど、徐々に自分の中に父親の意識が芽生えて、それが雰囲気として出ているのかもしれないですね。

天野・生活時間が変わりました。最初のころは子どもが3時間おきに起きていたので、僕も夜中に起きなければいけなかった。

篠田・時間の使い方を変えました。1日は24時間しかありませんので、子どもとの時間を大切にするためには、何かの時間を減らすか効率

的に時間を活用するしかありません。飲みに行ったりもしますが、土日は子どもと遊ぶか、子どもと一緒に参加できるイベントに積極的に参加しています。宮川・職場の中でいろいろな方の話題が子育てに変わってききました。子どもを話題にあまり話をしなかった人と話ができたりして、人間関係に一つ幅ができたのかなというのがあります。生活に関する話題が増えてきたことに父親になったことを一番実感します。

図表 男女がともに家事・育児・介護などに参加するために必要なこと(上位5項目/中央区)





宮川和也さん
(京橋地域在住)
お子さんは9カ月の女の子



仕事と子育て

ワーク・ライフ・バランス
についてはいかがですか？

芦沢：育児休暇は学業休職と兼ねて取ったので取りやすかったです。上司に恵まれたというのがあります。1年休んで今年の10月に復職です。育児休暇前は深夜まで働いて休みもないほどだったので、復帰してからワーク・ライフ・バランスに気をつけなければと思っています。

天野：自分の場合、会社で決められている出産休暇を取っただけです。あとは有給休暇を使って子どもと接しています。

篠田：育児休暇は、取ったらいい経験だと思いますが取ろうとは思わなかったですね。自分に部下が

できたときに、取りたい人がいたら率先して取らせてあげたいと思いますね。

宮川：会社は女性の育児休暇の取得には積極的ですが、これから時代が進むと男性も取るようになるかもしれませんね。ただ専門職は余剰人員がいないので取りにくいかなと思います。

子育てをすることで仕事の仕方が変わりましたか？

篠田：これまで以上に効率的に仕事をできるようにしています。子どもができて仕事量が減るわけではないですし手を抜こうとは思いませんので、子どもの世話をした後や、朝5時に起きて仕事をするなど工夫しています。

芦沢：子育てをすると仕事のスキルが落ちる、仕事を頑張ると子育てがおろそかになるといふように仕事と子育てがトレードオフになるのは嫌ですね。子どもの癒しがある分仕事も頑張れるという、相乗効果で仕事もうまくいくようにしたいですね。

宮川：子どもを持って変わったのは、休みの日に仕事をほとんど意識しなくなったことです。土日を

完全オフにしてプライベートな1日を確保するようにしています。ただそのために平日は限界まで仕事をしますし、残した仕事はどこまでに終わるか調整します。

天野：仕事の拘束時間が長いのですが、家に仕事を持ち込まなくていいので、家にいるときは子どもとの面倒を見て、仕事のことはい切考えない。今のところは仕事と子育てでは完全に分けられています。

夫婦の協力

最後に、これから子育てを始める方に夫婦の協力について一言お願いします。

宮川：子育ても一つの仕事かなと思います。妻も子育てで24時間拘束されるので大変だと言っています。妻への気遣いは大事ですね。結婚前一人暮らしをしていて料理も自分でしていました。一人暮らしですらできてきたことの延長線上に子育てで必要な家事があります。

天野：子育ては妻一人では大変なのでできる限りのサポートが必要だと思います。1歳前はお母さんに懐いてばかりでしたが、だんだんと自分にも懐いてきました。今

離乳食から幼児食になる段階なのでその辺も協力しながらやっていきたいです。

芦沢：最初は妻が一人でやれるかなと思っていましたが、子育てはそんなに簡単ではないと実感しています。ずっと子どもと向き合うのは大変なので妻が一人になれる時間を作るようにしています。僕もできる限り子どもと触れて楽しい時間を過ごしたいと思っています。

篠田：自分のやれることが増えないと妻をサポートできる範囲も限られてくるので、やれることは積極的にやり、やれることを増やそうと心がけています。子育ては思っていた以上に大変ですが、前向きに考えて期間限定の子育てを楽しまないともったいないと思っています。



篠田剛志さん
(月島地域在住)

お子さんは5歳の男の子と1歳4カ月の女の子



インタビュー

日本橋パパの会 代表 かのこぎみちのり 鹿子木亨紀さん

地域にパパ友を持つ

インタビューでは、地域にパパ友を求めて「日本橋パパの会」を結成した鹿子木亨紀さんに、パパの会結成の経緯や活動内容、子どもを通して地域でつながることの大切さなどについてお話を伺いました。

近所にパパ友がほしい

2009年、長男が誕生する直前に人形町に転居してきました。近所にパパ友がほしくて保育園の掲示板に「飲み会」の貼り紙をしたところ、10人集まりました。「第1回パパの会」です。ほぼ初対面同士でしたが、近所に住む小さい子どもを持つ父親ということで話題は尽きず、盛り上がりました。おむつのことから病気、小児科のこと、子ども以外のことでもおいしいお店の情報等々。しかも終電を気にする必要がありません。

メンバーを増やそうとほかの保育園に声をかけたりHP等を作ったところ、今、設立から4年近く経ちますが会員は130人になりました。

活動内容は、飲み会だけではママたちから評判が悪いので、イベントもするようになりました。遠足やバーベキューはママも参加できますし、パパと子どもで来ればその間ママは自由時間になります。また、ほかの家族と一緒になので、子どもは友達と遊べて楽しいし、パパも弁当を広げながらビールを飲んだりして楽しめます。

メーリングリストを使って子育てに関する情報交換をすることもあります。



仕事と子育て

父親の子育ての悩みで一番多いのは、平日忙しいパパが週末子どもと遊ぼうとしてもうまくいかないことです。結局子どももママと過ごしたがって、パパは子どもとどう過ごしていいかわからない。パパの会も解決策があるわけではないですが、ほかのパパが子どもとどう接しているかを見るだけで参考に



なると思います。

自分の場合、子どもが生まれる前から子育てを楽しみたいと思っていましたが、生まれてみると意外と子育てが大変で妻だけに任せずできるだけ早く家に帰ろうと思いました。意識して子どもとの時間を多く取るようにしています。

地域とつながる大切さ

会員が130人も集まったのは、地域に友達がいることのよさだと思います。小さい子がいるとどうしても仕事と家庭の往復だけになりますが、そこに地域という第3の居場所があるのは嬉しいことです。

子育てが地域とつながることは、子どもの成長にもプラスです。多くは核家族なので子どもが接する大人は親と保育園だけになりがちですが、親が地域の人と交流することで子どももいろいろな大人と接しながら成長できます。また、地域の大人が子どもの顔を覚えてくれるのは防犯という意味でも心強いです。

日本橋は歴史と伝統があって古くから住んでいる人たちが地域の縁を大事にしています。ベビーカーを押しながら歩いていると近所のおじいちゃんおばあちゃんが声をかけてくれます。子育て世帯はマンション住まいが大半で近所付き合いが希薄になりがちですが、パパの会が地域活動の第一歩になったらいいと思います。子どもが成長していく地域とのつながりを大切にしたいと思います。



第14回中央区ブーケ祭りを開催しました！

第14回中央区ブーケ祭りを開催しました！

展 示
各ブースでは26の団体が日ごろの活動成果を展示しました。

「職場で、地域で、家庭で働く女性たちへの応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせて開催される「中央区ブーケ祭り」。第14回を迎える今年は「明日につなげるブーケの音色」をテーマに、6月26日（金）、27日（土）に開催されました。会場となった女性センター「ブーケ21」では、29の参加団体による展示や授業形式の発表が行われ、1250人の来場者が男女共同参画について学び、楽しみました。



05



06



07



01



08



02



03



09

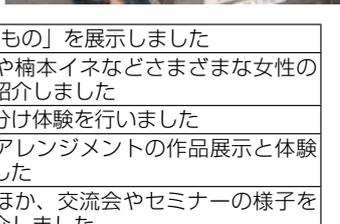
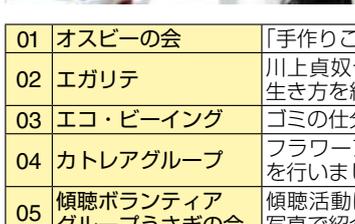


04



10





01	オスビーの会	「手作りこもの」を展示しました
02	エガリテ	川上貞奴や楠本イネなどさまざまな女性の生き方を紹介しました
03	エコ・ビーイング	ゴミの仕分け体験を行いました
04	カトリアグループ	フラワーアレンジメントの作品展示と体験を行いました
05	傾聴ボランティアグループうさぎの会	傾聴活動ほか、交流会やセミナーの様子を写真で紹介しました
06	新婦人女性の地位向上委員会	絵手紙の展示と絵手紙体験を行いました
07	京橋防火女性の会	応急救護訓練の展示や指導を行いました
08	かな書道を親しむ会	かな書道の作品を展示しました
09	銀座育成婦人会	お花見や納涼会など1年間の活動内容を写真で紹介しました
10	カラーの会・アヌビス	オーラソーマ（カラーセラピー）に関する展示や体験を行いました
11	茶友倶楽部 えん	お茶会を開きお茶とお菓子をふるまいました
12	中央区女性海外研修者の会	「台所から世界が見える」の展示と軽食のサービスをしました
13	中央区環境保全ネットワーク	リサイクルマーク&エコマークの認知度を調査しました
14	中央区社会福祉協議会	事業や使用しているレクリエーション用具を紹介しました
15	中央区消費者友の会	高額医療費制度や機能性食品表示を紹介しました
16	中央区女性ネットワーク	「講演と映画のつどい」や「男女共同参画リーダー研修」などの様子を写真で紹介しました



17	中央区文化財サポーター協会	街歩き活動の紹介や街歩きマップを配布しました
18	中央区保健係	大腸がんについての展示や血管年齢を測定しました
19	中央区女性センター	区民の方が集めた児童館の情報や区民企画の講座などを紹介しました
20	中央区つつじ会	絵はがきやビーズ製品を販売しました
21	中央区婦人学級連絡会	カレンダーを再利用した折紙体験や婦人学級だよりの展示を行いました
22	人形教室みやび会	木目込み人形や押絵を展示しました
23	東京建築士会女性委員会	住まいやリフォームの相談を受けました
24	東京都下水道局桜橋第二ポンプ所	ポンプ所の見学会や水圧の体験などを行いました
25	日本橋モラロジー事務所	心の生涯学習の紹介とニューモラル誌を配布しました
26	FLAP はばたき	法律・相続・税金の相談を受けました

*番号は写真の番号を示しています。



ブーケ祭り実行委員会企画

ブーケ学校開催

1 階の発表の広場では、21 の団体が授業形式で発表を行いました。



26 日(金)	
4 時限目 現代社会・理科	<p>中央区女性ネットワーク これまで開催した「講演と映画のつどい」や「男女共同参画リーダー研修」などの様子を紹介しました</p> 
	<p>中央区環境保全ネットワーク リサイクルマークに関するクイズや「子どものためす環境まつり」を紹介しました</p> 
5 時限目 国語・歴史(女性史)	<p>朗読ボランティアグループわかはや会 「雨やどり」「かぜのでんわ」を朗読しました</p> 
	<p>エガリテ クイズ形式でさまざまな分野の女性先駆者を紹介しました</p> 
6 時限目 音楽・福祉	<p>音和会 合唱を披露し参加者と一緒に盆踊りを踊りました</p> 
	<p>傾聴ボランティアグループうさぎの会 ロールプレイで傾聴について紹介しました</p> 

26 日(金)	
1 時限目 現代社会	<p>中央区消費者友の会 薬と食品の食べ合わせ・栄養に関するクイズとオレオレ詐欺替え歌を歌いました</p> 
	<p>東京都下水道局 桜橋第二ポンプ所 ポンプ所と下水道の役割を紹介しました</p> 
2 時限目 (福祉住環境) 家庭科	<p>東京建築士会 女性委員会 高齢者の多様な住まい方を紹介しました</p> 
	<p>中央区社会福祉協議会 主な事業・作業内容や自操・介助用車椅子を紹介しました</p> 
3 時限目 保健衛生	<p>中央区福祉保健部 管理課保健係 区で実施している健(検)診を説明しました</p> 

ブーケ祭り実行委員会企画では、ブーケ学校のほか、フレンチカフェによるコンサート、クイズラリー、さくらんぼ種飛ばし大会、友好都市東根市産のさくらんぼと東日本大震災の支援として南三陸わかめの頒布を行いました。

ブーケ学校 特別授業 「フレンチカフェ」(Keiko & 美鶴) コンサート ~アコーディオンとギターの弾き語り~

アコーディオンと聞けばシャンソンとイメージがすぐ湧く暖かな優しい音色、そしてイタリアの伝統楽器“ピッコロ”。そのコラボに妙なワクワク感を期待しつつコンサート開始です。軽快なリズムと粋なハーモニーの調べが、館内に響けば自然と身体が動き、思わず手拍子。もうそこはお祭り広場、パリ祭ならぬブーケ祭り一色です。「フレンチカフェ」の息の合ったお二人のトークに引き込まれ、「オーシャンゼリゼ」「パリの空の下」と曲が続けば梅雨空も忘れ、思わずうっとり。特別授業に魅了された方が多かったのでは……。共に唄って明日につながるとても楽しいひとときでした。

事業協カスタッフ 村田進益

フレンチカフェ コンサート



27日(土)		
3時限目 倫理	日本橋モラロジー事務所 自分と他者との関係を上手に築く方法について参加者と一緒に考えました	
4時限目 社会	FLAP はばたき 女性の弁護士、司法書士、税理士がそれぞれの仕事を紹介しました	
5時限目 歴史	中央区文化財サポーター協会 区内の文化的なスポットを映像クイズで紹介しました	
6時限目 国語	朗読の会 「染ちゃん」 「平和の申し子たちへ」を朗読しました	
7時限目 体育(ダンス)	レイ・ロケラニ フラダンスを披露しました。参加者と一緒に四季の歌を歌って踊りました	



26日(金)		
7時限目 音楽・現代社会	新婦人コーラス エーデルワイスの会 美しいコーラスを披露しました	
	新婦人女性の地位向上委員会 核不拡散条約ニューヨーク行動に参加した時のことなどを報告しました	

27日(土)		
1時限目 芸術	カトレアグループ ミニブーケづくりを 実演しました	
2時限目 心理・防災	カラーの会・アヌビス オーラソーマ(カラーセラピー)について紹介しました	
	京橋防火女性の会 応急救護訓練の案内と 防火防災に関する広報を行いました	



事業協カス
タッフ
レポート

さくらんぼ種飛ばし大会

さくらんぼ種飛ばし大会取材して

ブーケ祭り1日目の最後は、友好都市山形県東根市産のさくらんぼによる「さくらんぼ種飛ばし大会」でした。老いも若きも、そして東京都下水道局の方々とたくさんの参加者が集まりました。

緊張している面々が、盛り上げ上手の司会者にのせられて飛距離を競って「ワンチャンス」にかけます。飛ばされた種がいろいろな曲線を描いて青いシートの上に落ちていきます。距離の測定者は真剣です。応援席も熱くなります。「キャー」「アー」と、挑戦者が「見かけ通り」であったり「見かけ倒し」であったりと一喜一憂しました。今年の最高記録は8m37cmでした。



事業協カス
タッフ
橋谷信代

事業協カス
タッフ
レポート

クイズラリー

クイズラリーに参加して

今年のブーケ祭りでは、「クイズラリー」にチャレンジしました。毎年、各団体の展示を横目で見ながら足早に通り過ぎていた私ですが、今回はクイズラリーのスタンプをもらうため、各団体の皆様のお話を伺いました。特に印象に残ったのは、中央区環境保全ネットワークの皆さんのリサイクルマークの展示。例えば、飲料の紙製容器でも「紙」と「紙パック」の2種類のマークがあったり、予想を上回る種類のリサイクルマークがあることを初めて知りました。新しいことを学んだ上にお土産まで頂き、大満足の1日でした。



事業協カス
タッフ
脇坂文栄

水曜イブニングトーク
平成27年度のテーマ

「日本橋」のいま、むかし、これから
〜男女共同参画の視点で再発見する日本橋〜

報告 第1回 鯉節の文化や歴史と 女性のかわり



7月1日(水)、今年度1回目の水曜イブニングトークが開催され、日本橋にある老舗鯉節店「大和屋」の社長とおかみさんのお話を伺いました。

前半は外山順一郎社長の「鯉節の基礎知識」。鯉節が縄文時代から食べられていたらしいことや、外国でもモルディブ・フィッシュという鯉節に似たものが食べられていることなど興味深いエピソードや、手間のかかる製造方法などについてお話くださいました。

後半は、おかみの外山真佐子さんの「鯉節と女性の関わり」。鯉節の削り方や上手な削りの取り方など、すぐに役に立つ知恵を教えてくださいました。最後は鯉節削りの実演と試食。子どもの頃に聞いた「カシユツ」という鯉節が削れる音を聞き、削りたての豊かな香りと深い旨みを味わい、とても幸せな気分になりました。最近では、鯉節も削り器も手軽なものが販売されているそうです。是非、私も自分で削った鯉節でだしをとり、料理を試してみたいと思いました。

事業協力スタッフ 脇坂文栄



外山順一郎さん



外山真佐子さん

報告 第2回 江戸期の女性の生き方、暮らし方 〜浮世絵団扇の図案を読み解く〜

8月5日(水)、日本橋にある団扇と扇子の老舗「伊場仙」14代目当主である吉田誠男さんをお迎えし、「伊場仙」の歴史、江戸の教育、浮世絵にみる江戸の女性などについてお伺いしました。

浮世絵は、世相を写したもので、絵師、刷師、彫師が共同で作成したそうです。女性画は当時のスキャンダルや服飾の流行等を表しており、また、風景画は江戸のお土産として買ってもらったそうです。

江戸での教育普及率はとても高く、町人の子弟は男女の区別なく寺子屋で教育を受けていたとのこと、男女が平等に寺子屋で教育を受ける機会があったことに驚きました。女性の識字率も非常に高かったそうです。また、離婚率も高く女性から三行半(離婚)を突き付けられる男性もいたそうです。江戸の女性は、高い教育を受け、町人の妻として陰ながら江戸の経済を動かすなど、強い意思を持って生きて方が多かったことをお伺いし感銘を受けました。

事業協力スタッフ 中原玲子



吉田誠男さん



報告 中央区・東京商工会議所中央支部主催 ワーク・ライフ・バランスセミナー クレームを優良顧客に変える コミュニケーション

7月10日(金)、アイディアヒューマンサポートアカデミーの織田貴子さんを講師にお迎えして、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、コミュニケーションのトラブルによるストレスを自身で解決する方法を学びました。クレームは、期待が外れた時の怒りを伴った意図的なコミュニケーションです。クレームを言ってきた人が期待していること、最初に欲しかったものをまず考える必要があります、それらを引き出せるような積極的な聞き方が必要とのことでした。

セルフプロテクトについては、電話で対応する場合、椅子に深く腰掛けて姿勢を安定させ、手元に温かい飲みものや自分の気持ちを落ち着けるものを置いていたほうが良いとのことでした。また直接会って話す場合は、正対せず相手と横並びの位置に体を斜め45度にして座るほうが良いそうです。

そして、クレームの対処には自分もダメージを受けたことを自覚して、そのダメージを和らげるために、自分を慰める時間や楽しませる時間を作ることで大事とのことでした。



織田貴子さん



報告 ほっと一息 わたしの時間 「聴く」でうまくいく コーチング子育て

奇数月の第3水曜日の午前中に開催する、「ほっと一息私の時間」。7月は、愛川よう子さんをリーダーにお迎えし、「子育てコーチング」についてお話ししていただきました。愛川さんご自身も、苦い育児経験がきっかけで「コーチング」を知るようになったそうです。参加者の方々も子育ての不安や悩みを話されていました。

最初に「子育てコーチング」の3つの柱①聞く(安心して何でも話せる関係をつくる)②伝える(親の気持ちを伝える)③自己受容と他者受容(親と子が別々の人間であることを認め合い、子どもを客観的に見られる目と心を持つ)の説明がありました。ワークでは参加者がペアになり、お互いが子どもや親の気持ちになってやり取りをしました。

「コーチング」からヒントをもらって体現してみることが、子育ての不安や悩みを少しでも軽くできる方法の一つだと実感しました。子どもの「気持ち」にはYes、行動にはNoのキーワードにとっても納得しました。

事業協力スタッフ

橋谷信代



愛川よう子さん





7月17日の
オリエン
テーション
にて

回	日程	テーマ
1	7/17(金)	オリエンテーション
2	7/29(水)	「ブーケ21」って何するところ？ ～男女共同参画講座・講演会の基礎知識～
3	9/9(水)	講座・講演会プランの基礎力アップ
4	10/16(金)	広報・チラシ作りのワンポイント(1)
5	11/11(水)	広報・チラシ作りのワンポイント(2)
6	1/13(水)	どうやるの!? 講座・講演会運営メソッド
7	2月ごろ	講座・講演会の実施
8	3月ごろ	反省会・修了証の授与

報告 「ブーケ21」事業協力スタッフ
養成講座

7月17日(金)から「ブーケ21」事業協力スタッフ養成講座(全8回)が始まりました。この講座は、「ブーケ21」で開催する講座・講演会などで活動していただく事業協力スタッフを養成するもので、男女共同参画に関する知識や、その推進に向けた講座・講演会の企画運営方法などを学びます。

1回目の講座では、養成講座に参加したきっかけや男女共同参画について日ごろ感じていることなど自己紹介した後、男女共同参画基本法や国の計画、中央区の計画である「中央区男女共同参画行動計画2013」について学び、「ブーケ21」の館内を見学しました。2回目以降は実際に講座を企画しながら、来年2月に予定している講座講演会の開催に向けてノウハウを学んでいきます。どうぞご期待ください。

平成27年10月・11月の講座ご案内

※応募方法は左下の申込方法・連絡先を参照の上お問合せください。

講座名	日時	講師	内容	対象など	区のお知らせ掲載号
女性のための再就労支援講座 「キャリア講座」 充実コース <small>託児</small>	① 10月15日(木) ② 10月22日(木) 午前9時30分から 12時30分	栗原知女さん (キャリア・コンサルタント、シニア産業 カウンセラー)	①「ビジネスマナー・ビジネスコミュニ ケーション・情報収集術」 ②「会社選び、多様な働き方、ライフ マネープラン」 *希望する講座のみの受講もできます ので是非ご参加ください。	結婚、出産・育児、介護等の ため離職した方など、就職を 希望する女性 (キャリア講座) 各回50名(先 着順)・無料 (キャリア相談) 先着順・無料	8月1日号
「キャリア相談」 <small>託児</small>	一人ひとりの状況に応じた個別相談をキャリア・コンサルタントが担当します。日時等詳細はお問い合わせください。				
男女共同参画講座 「傷ついた心のケア講座 ～もう一度私らしく～」 <small>託児</small>	10月17日(土) 午前10時から 12時	西山さつきさん (NPO法人レジリエ ンス副代表)	夫や家族からのDVやモラルハラスメントなどによって傷ついた女性、そのような方になりたい女性のための講座です。自分の気持ちや考えを素直に表現できる勇気と自信を取り戻しませんか。	女性の方(区内在住・在勤・在学優先)・無料	9月11日号
男女共同参画セミナー 「働く女性のキャリアアップ ～仕事で輝くための意識と 働き方～」 主催：中央区 東京都労働相談情報センター	10月19日(月) 午後6時30分から 8時30分 10月20日(火) 午後6時30分から 8時30分	林久美子さん (公益財団法人21世紀 職業財団 客員講師)	「キャリアについて知る」 ・キャリアとは何か ・働く女性の現状と求められる能力 ・キャリア形成の課題 「キャリアプランをつくるには」 ・ライフプランとキャリアデザイン ・自らのキャリアを掘り下げる ・キャリア目標と働き方	勤労者・その他テーマに関心のある方・各回75名(先着順)・無料	9月21日号
男女共同参画助成事業 「親子で歌ってリフレッシュ」 主催：子育てリーダー CHUO	11月7日(土) 午前10時から 11時30分	たいらいさおさん (童謡歌手、3代目歌 のお兄さん)	親子で楽しめる歌をみんなと一緒に歌い、楽しみながら言葉・詩の美しさを感じてみませんか。	区内在住の未就学のお子様と保護者	10月1日号

*会場は男女共同参画セミナーは中央区役所、その他は女性センター「ブーケ21」です。

*募集は広報紙「区のおしらせ中央」発行後です。詳しくは広報紙「区のおしらせ中央」をご覧ください。

託児 は定員あり

申込方法

電話またはファクスで受付けます。(電子申請も可)

- ① 講座名など
- ② 氏名・ふりがな
- ③ 〒・住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 年齢

●電子申請の場合は、区のホームページからお申込みください。

申込・連絡先

女性センター
「ブーケ21」
TEL 5543-0651
FAX 5543-0652
http://www.city.chuo.lg.jp/

◆パネル展示日程

女性センター「ブーケ21」	11月11日(水)から12月25日(金)
月島区民センター	11月11日(水)から11月17日(火)
区役所 1階	11月18日(水)から12月1日(火)
日本橋区民センター	12月3日(木)から12月9日(水)

毎年、11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では、女性に対する暴力の防止を呼びかけるパネル展を実施します。

お知らせ 女性に対する暴力をなくす運動パネル展

※応募方法は左の申込方法・連絡先を参照の上お問合せください。

- 認定式 平成28年4月
- 締切 12月22日(火)(必着)
- 対象 区内に事業所を置き、常時雇用する従業員の数が三百人以下の企業、一般社団法人、一般財団法人等
- その取り組みを広く紹介します。

募集 ワーク・ライフ・バランス 認定企業の募集

仕事と家庭の両立支援や男女がともに働きやすい職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進している中小企業等を認定し、その取り組みを広く紹介します。

T O P I C S

講演と映画のつどい

テーマ「明日、きらきらと輝いて」



講師のマルカスさん

講演 **「自分の中の可能性を見つけるために」**
 ～インドと日本の女性の生き方に見る教育のあり方～

講師 **マルカスさん** (アサヒトラベルサービス株式会社代表取締役
 インド人作家 立川談デリー)

映画『マダム・イン・ニューヨーク』

7月11日(土)、中央区女性ネットワークと中央区の共催により日本橋社会教育会館ホールにて「講演と映画のつどい」が開催されました。10回目を迎えた今回は、日本とインドの文化交流のため日本全国でさまざまなインド関連の講演を行いながら、インド文化の紹介に努めているマルカスさんによる講演と、映画『マダム・イン・ニューヨーク』を上映いたしました。

講演では、インドにおける女性の現状や女性問題など幅広くお話を伺い、これまで遠い存在であったインドがとても身近に感じられました。講師のマルカスさんは、立川談志の初の外国人弟子「立川談デリー」としても活躍しておられ、さすがその語り口は軽妙ですっかり魅了されました。

また、映画はインドのごく普通の専業主婦が小さなきっかけから一人の女性としての自信と誇りを取り戻していく内容で、多くの皆さんから「すごく良かった!」という感想をいただきました。これからも、喜んでいただける企画を発信していきたいと思えます。

中央区女性ネットワーク 会長 三田富貴子



マルカスさんと主催者



館長雑記

マヤ・リンの記念碑

▶この夏、長い間見たいと思っていたマヤ・リン設計の「ベトナム戦争戦没者慰霊碑」を見る機会に恵まれました。▶ワシントンDCのナショナル・モールの公園の一角に位置したこの慰霊碑は、1981年、マヤ・リンがまだイェール大学の建築学科の学生だったとき、コンペティションで優勝した案を実現したものです。58,000名余の戦没兵士の名前を刻んだ壁は、訪れた人たちの影をその上に重ねて映し出しながら静かに立っています。年間およそ300万人が訪ねてくるそうです。▶コンペで優勝してから、この碑が実現するまでの過程で起きたさまざまな反対と賛成をめぐる議論や集会、その結果は、よく知られています。審査員全員一致で選ばれた案にもかかわらず、「21歳という若い、アジア系米国人の女性の提案」にどのくらい大きな反発があったか、何回もの公開討論会の開催、マヤがどのようにそれに臨んだか等々、実現をめぐる起きた「事件」とその結末は米国精神の最も良い面を表現しているように思われます。日本だったらどうなったでしょうか。(松川淳子)



「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力(DV)をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩み専門相談員がお応えします。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 **03-5543-0653** (相談無料、秘密厳守)

電話相談(予約不要) 毎週月曜日 10:00～16:00 (ただし祝日、年末年始を除く)

面談相談(予約制) 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00

毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30

(ただし祝日、年末年始を除く) *託児付(要予約)

上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか?

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人ひとりが自分らしく生きることができる地域社会をめざす拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号
 電話番号 03-5543-0651

ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川車庫前⇄東京駅八重洲口/豊洲駅前・明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分
- 入船三丁目下車 徒歩3分
- 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

